

にかほ市の具体的なアクション

子どもの相談・支援体制の充実

子育てのスタートラインである妊娠期から出産後の育児相談窓口子育て世代包括支援センター「にかほ市ネウボラあのね」を開設しています。また、児童相談所機能を補完するため秋田県が設置した児童家庭支援センター「こねくと」や、学校へ行きづらさを感じている児童生徒の新しい居場所として市が設置した教育支援センター「ぱすてる」と、市の子育て支援課が同じフロアで隣り合って業務に当たっており、迅速な情報共有やさらなる連携強化が図られるようになりました。

市民が相談しやすい環境を整えることで、これからも、こどもとその家庭に関する様々な相談、多様な問題に早期に対応し、寄り添い、支え続けていきます。

保育料等の助成など

令和元年10月以降、国の3歳児以上の保育料無償化に伴い、にかほ市では対象児を拡充し、“すべての世帯”の保育料無償化を実施しています。また、副食費についても“全額助成”しています。さらに、18歳までの医療費無償化に加え、18歳までの子を持つ“ひとり親”の医療費助成も実施するなど、子育て世帯の経済的な支援に先進的に取り組んでいます。

妊娠・出産・子育ての包括的支援

子育て世代包括支援センター「にかほ市ネウボラあのね」を拠点に、妊娠期からの伴走型相談支援の充実を図り、日頃から顔の見える関係づくりを心がけながら妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない包括的支援に取り組んでいます。また、妊産婦医療費助成や任意予防接種費助成等の経済的な支援にも先進的に取り組んでおり、子育て世代の不安解消と地域で子どもが健やかに成長できる環境の充実に取り組んでいます。